

群馬読売

8月5日

2006年

発行/群馬よみうり新聞社  
〒371-0822前橋市下新田町63

amigo

(3)2006年(平成18年)8月5日(土曜日)

群馬読売合同ビル

富岡

# 障害者への理解求めデモ行進

## 上州水土舎のメンバーら50人

富岡市後賀の知的障害者通所授産施設「上州水土舎」(金谷透施設長)の利用者と保護者、一般の賛同者ら約50人は7月15日、市街地と施設周辺をデモ行進した。水土舎では7月8日、授産活動の一環として施設内で飼っている鶏の鶏舎の鍵が外され、約100羽が死んでいるのが見つかった。県西部農業事務所の検査で、死因は、感染症ではないことが判明している。

デモ行進は、事件の告知と施設や障害者への理解を求めて行った。

参加者は「私たちの人間宣言」をテーマに、「差別反対」「私たちも同じ人間です」「ワトリを返せ」などと書いた、たすきやプラカードを持って行進。周囲から「頑張つて」と声を

かけられる場面もあった。

水土舎は、施設内に知的障害者の通所更生施設の建設認可を求め、昨年から署名運動などを展開している。そうした中で起きた鶏の事件に、関係者のショックは大きい。金谷施設長(58)は「自分たちの意見を公にしていけないと、地域に理解されない。これを機に少しでも理解が深まり、差別や偏見がなくなれば」と話した。

訴えを掲げ、施設を出発



水土舎